

用ノ事情書ヲ作リ砲兵工廠長仲理ヲ訪問セシメ在ノ爲ノ武田  
庶務課長ニ面会テ事情書ヲ提出シタリ

一 砲廠ハ兵器ヲ製造スル所ニシテ國家的見知ヨリ最モ重大ナル  
貴族ヲ帶ハル工場ナル因ツテ吾々ハ大ニ感謝シテ居ル次第デ

二 砲廠ハ今回作業時ガノ一時官程給セラレタル事ニ就テハ吾々全志  
ノ万足スル所ナレ共之レガ爲メ收入ノ減額セラル所ニシテ  
三 時給短縮ニ就テハ吾々職工ノ標準スル外ニ一時官短縮セラ  
レハ時給制度ヲ突進シテ時給ノ制トシテ日給支給セラレタ

一 大正十一年四月廿九日午後四時ヨリ王子所 寄附會ニ於テ芳  
廠者慰安會同催集會者約三百名全九時散會セルガ今日ハ王子  
支部ノ役員改選ヲ行ヒ分會トシテ本部ニ交情ナリ同催シタル

一 全會 六月四日王子支部 寄附會ニ於テ芳廠者同催シタル事  
毎週火木土ノ三日午後七時ヨリ集會所定科目ノ研究ヲナ  
ス新函ニ至リ王子支部 寄附會ニ於テ芳廠者同催シタル事  
兼合者約二百名

一 全會 芳川 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會  
ノ職制ヲ欠ヤ互ニ相反目ノ状態ナリ今同兵連ハ芳川ニシテ  
一 砲兵工廠同催ノ運動ヲ起シ工友會ト連絡シテ日本労働同盟  
ヲ組織シ時給ニシテハ小石川労働會ヲ消滅セシメントスル意圖  
アリ一方芳川寄附會ハ大正十一年七月廿五日午後七時ヨリ小石川入道  
五ノ芳川寄附會ヲ解散シ今午開キ兼合者約三百名芳川寄附會  
兼合者約二百名芳川寄附會ヲ解散シ今午開キ兼合者約三百名芳川寄附會

一 本會ハ不合理ナル運動ヲ排斥シ正義人道ノ上ニ立脚シテ人糞共存  
ノ意義ヲ徹シ置ケル

一 今回日本労働同盟ニシテ陸軍ノ大任ニ致シタル要非ハ当初ヨリ本會  
ノ深知セラルル如クニシテ一軍レヨリ人ハ絶對中立ヲ保ツ

一 全會 七月廿一日長部 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會  
一 全會 七月廿一日長部 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會

石炭 試

大正十一年七月廿五日

一 全會 八月三十一日小石川王表所傳道院ニ於テ殉死者追悼會同催  
催集會者約三百五十名大道大將ノ講話アリ終リテ余興ニ移リ午  
後六時閉會セリ

一 全會 十月一日午後四時三十分ヨリ府下邊ノ川字庵ノ川 陸盛庵ニ於テ  
寄附會同催集會者約四百名午後七時五十分閉會セリ

一 全會 十一月十七日午後五時ヨリ王子所 寄附會ニ於テ全會王子支部  
茶寮 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會  
川 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會  
一 全會 十一月十九日全會芳川 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會  
上 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會  
海軍省 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會  
一 全會 十一月十四日午後六時三十分ヨリ王子所 寄附會ニ於テ芳  
廠者方ニ於テ豊島支所 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會  
大芳川 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會 寄附會